平成 29 年度　病院事業決算状況　　都道府県名　群馬県　　総務省

ー 目次 ー

市町村・組合名	病院名	ページ
-	心臓血管センター	2
-	がんセンター	3
-	精神医療センター	4
-	小児医療センター	5
伊勢崎市	伊勢崎市民病院	6
渋川市	渋川総合病院	7
藤岡市	藤岡市国民健康保険鬼石病院	8
安中市	公立碓氷病院	9
桐生地域医療組合	桐生厚生総合病院	10
多野藤岡医療事務市町村組合	公立藤岡総合病院	11
邑楽館林医療事務組合（事業会計分）	館林厚生病院	12
富岡地域医療事務組合	富岡総合病院	13
富岡地域医療事務組合	七日市病院	14
下仁田南牧医療事務組合	下仁田厚生病院	15
吾妻広域町村圏振興整備組合（事業会計分）	中之条病院	16
西吾妻福祉病院組合（事業会計分）	西吾妻福祉病院	17

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	群馬県
市町村・組合名	
病院名	心臓血管センター

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透Ｉ　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	25,000 ㎡	指定病院の状況	救　地　輪
診療科数	8	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	195	67.1	68.7	59.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	195	67.1	68.7	59.7
平均在院日数（一般病床のみ）		10.1	10.7	11.7

設立団体の状況

人口 (人)		1,973,115
決算規模 (千円)		727,342,685
標準財政規模 (千円)		443,455,698
財政力指数		0.64895
経常収支比率 (%)		96.6
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	11.5
	将来負担比率 (%)	159.4

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	83.2
修正医業収支金額 (千円)	7,375,363

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	740,564	754,875
資本勘定繰入	446,238	446,238
計	1,186,802	1,201,113

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	33.1
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,628,998			
1 経常収益	8,626,760			
(1) 医業収益	7,469,362			
① 入院収益	6,372,303			
② 外来収益	876,016			
診療収入計	7,248,319			
③ その他医業収益	221,043			
(うち他会計負担金)	93,999			
(2) 医業外収益	1,157,398			
(うち国・都道府県補助金)	1,461			
(うち他会計補助・負担金)	660,876			
(うち長期前受金戻入)	353,868			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,238			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,045,363			
2 経常費用	9,042,131			
(1) 医業費用	8,860,634			
① 職員給与費	2,970,648	39.8	55.9	59.8
② 材料費	3,431,056	45.9	24.0	17.7
(うち薬品費)	290,209	3.9	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,104,422	41.6	11.1	8.0
③ 減価償却費	777,385	10.4	9.2	10.4
④ 経費	1,612,559	21.6	23.2	31.2
(うち委託料)	718,040	9.6	11.2	12.8
⑤ 研究研修費	53,045			
⑥ 資産減耗費	15,941			
(2) 医業外費用	181,497			
(うち支払利息)	90,219	1.2	1.7	1.8
(3) 特別損失	3,232			
損益 経常損益	-415,371			
損益 純損益	-416,365			
累積欠損金	2,613,566			
経常収支比率	95.4		98.0	96.3
医業収支比率	84.3		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	8.8		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	10.1		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	8.7		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	87.1		85.9	81.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	37,589,487
1 固定資産	28,478,720
(1) 有形固定資産	28,472,731
(2) 無形固定資産	5,989
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	9,110,767
(1) 現金及び預金	5,221,277
(2) 未収金及び未収収益	3,793,961
(3) 貸倒引当金 (△)	2,055
(4) 貯蔵品	67,559
3 繰延資産	-
負債合計	33,912,067
1 固定負債	22,370,226
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,480,050
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,890,176
(7) リース債務	-
2 流動負債	6,656,908
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,990,626
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	768,163
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,774,955
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,884,933
(1) 長期前受金	22,222,620
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	17,337,687
資本合計	3,677,420
1 資本金	10,433,631
2 剰余金	-6,756,211
(1) 資本剰余金	611,812
(2) 利益剰余金	-7,368,023
負債・資本合計	37,589,487
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	群馬県
市町村・組合名	
病院名	がんセンター

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	Ｉ　ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	34,505 ㎡	指定病院の状況	臨 が
診療科数	18	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	314	67.5	65.1	68.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	314	67.5	65.1	68.1
平均在院日数（一般病床のみ）		13.1	12.7	14.2

設立団体の状況

人口 (人)		1,973,115
決算規模 (千円)		727,342,685
標準財政規模 (千円)		443,455,698
財政力指数		0.64895
経常収支比率 (%)		96.6
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	11.5
	将来負担比率 (%)	159.4

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	87.0
修正医業収支金額 (千円)	8,454,307

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	748,390	819,510
資本勘定繰入	612,942	612,942
計	1,361,332	1,432,452

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	33.1
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,968,441			
1 経常収益	9,967,401			
(1) 医業収益	8,492,199			
① 入院収益	4,435,451			
② 外来収益	3,722,164			
診療収入計	8,157,615			
③ その他医業収益	334,584			
(うち他会計負担金)	37,892			
(2) 医業外収益	1,475,202			
(うち国・都道府県補助金)	10,365			
(うち他会計補助・負担金)	781,618			
(うち長期前受金戻入)	597,956			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,040			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,001,826			
2 経常費用	10,001,386			
(1) 医業費用	9,713,181			
① 職員給与費	3,339,518	39.3	55.9	56.9
② 材料費	3,353,652	39.5	24.0	24.2
(うち薬品費)	2,363,437	27.8	12.4	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	929,248	10.9	11.1	11.7
③ 減価償却費	1,088,205	12.8	9.2	9.5
④ 経費	1,820,180	21.4	23.2	21.8
(うち委託料)	866,721	10.2	11.2	10.7
⑤ 研究研修費	104,681			
⑥ 資産減耗費	6,945			
(2) 医業外費用	288,205			
(うち支払利息)	37,650	0.4	1.7	1.8
(3) 特別損失	440			
損益 経常損益	-33,985			
損益 純損益	-33,385			
累積欠損金	3,361,666			
経常収支比率	99.7		98.0	96.3
医業収支比率	87.4		88.4	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	8.2		12.4	11.2
他会計繰入金対医業収益比率	9.7		14.5	12.9
他会計繰入金対総収益比率	8.2		12.4	11.3
実質収益対経常費用比率	91.5		85.9	85.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	37,589,487
1 固定資産	28,478,720
(1) 有形固定資産	28,472,731
(2) 無形固定資産	5,989
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	9,110,767
(1) 現金及び預金	5,221,277
(2) 未収金及び未収収益	3,793,961
(3) 貸倒引当金 (△)	2,055
(4) 貯蔵品	67,559
3 繰延資産	-
負債合計	33,912,067
1 固定負債	22,370,226
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,480,050
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,890,176
(7) リース債務	-
2 流動負債	6,656,908
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,990,626
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	768,163
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,774,955
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,884,933
(1) 長期前受金	22,222,620
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	17,337,687
資本合計	3,677,420
1 資本金	10,433,631
2 剰余金	-6,756,211
(1) 資本剰余金	611,812
(2) 利益剰余金	-7,368,023
負債・資本合計	37,589,487
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	群馬県
市町村・組合名	
病院名	精神医療センター

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	21,594 ㎡	指定病院の状況	臨　輪
診療科数	5	看護配置	１５：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数				(%・日)
区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	265	62.0	65.3	64.6
感染症	-	-	-	-
計	265	62.0	65.3	64.6
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口 (人)		1,973,115
決算規模 (千円)		727,342,685
標準財政規模 (千円)		443,455,698
財政力指数		0.64895
経常収支比率 (%)		96.6
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	11.5
	将来負担比率 (%)	159.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率 (%)	72.1
修正医業収支金額 (千円)	1,881,607

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	732,185	736,336
資本勘定繰入	250,035	250,035
計	982,220	986,371

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	33.1
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,926,927			
1 経常収益	2,779,931			
(1) 医業収益	1,927,642			
① 入院収益	1,626,734			
② 外来収益	225,865			
診療収入計	1,852,599			
③ その他医業収益	75,043			
(うち他会計負担金)	46,035			
(2) 医業外収益	852,289			
(うち国・都道府県補助金)	2,910			
(うち他会計補助・負担金)	690,301			
(うち長期前受金戻入)	148,190			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	146,996			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,718,760			
2 経常費用	2,718,760			
(1) 医業費用	2,609,682			
① 職員給与費	1,716,595	89.1	55.9	94.3
② 材料費	141,259	7.3	24.0	8.8
(うち薬品費)	75,638	3.9	12.4	6.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	19,219	1.0	11.1	1.1
③ 減価償却費	253,177	13.1	9.2	12.6
④ 経費	491,317	25.5	23.2	33.3
(うち委託料)	215,757	11.2	11.2	16.0
⑤ 研究研修費	7,170			
⑥ 資産減耗費	164			
(2) 医業外費用	109,078			
(うち支払利息)	100,756	5.2	1.7	3.4
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	61,171			
損益 純損益	208,167			
累積欠損金	1,211,973			
経常収支比率	102.2		98.0	100.2
医業収支比率	73.9		88.4	66.8
他会計繰入金対経常収益比率	26.5		12.4	33.7
他会計繰入金対医業収益比率	38.2		14.5	52.8
他会計繰入金対総収益比率	25.2		12.4	33.4
実質収益対経常費用比率	75.2		85.9	66.5

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	37,589,487
1 固定資産	28,478,720
(1) 有形固定資産	28,472,731
(2) 無形固定資産	5,989
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	9,110,767
(1) 現金及び預金	5,221,277
(2) 未収金及び未収収益	3,793,961
(3) 貸倒引当金 (△)	2,055
(4) 貯蔵品	67,559
3 繰延資産	-
負債合計	33,912,067
1 固定負債	22,370,226
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,480,050
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,890,176
(7) リース債務	-
2 流動負債	6,656,908
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,990,626
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	768,163
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,774,955
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,884,933
(1) 長期前受金	22,222,620
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	17,337,687
資本合計	3,677,420
1 資本金	10,433,631
2 剰余金	-6,756,211
(1) 資本剰余金	611,812
(2) 利益剰余金	-7,368,023
負債・資本合計	37,589,487
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	群馬県
市町村・組合名	
病院名	小児医療センター

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	Ｉ未訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	19,004 ㎡	指定病院の状況	臨
診療科数	16	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	150	70.9	71.4	73.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	70.9	71.4	73.5
平均在院日数（一般病床のみ）		11.8	11.9	12.1

設立団体の状況

人口 (人)		1,973,115
決算規模 (千円)		727,342,685
標準財政規模 (千円)		443,455,698
財政力指数		0.64895
経常収支比率 (%)		96.6
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	11.5
	将来負担比率 (%)	159.4

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	68.7
修正医業収支金額 (千円)	4,182,516

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,335,104	1,341,710
資本勘定繰入	164,603	164,603
計	1,499,707	1,506,313

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	33.1
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,971,656			
1 経常収益	5,971,652			
(1) 医業収益	4,354,389			
① 入院収益	3,281,682			
② 外来収益	767,134			
診療収入計	4,048,816			
③ その他医業収益	305,573			
(うち他会計負担金)	171,873			
(2) 医業外収益	1,617,263			
(うち国・都道府県補助金)	19,486			
(うち他会計補助・負担金)	1,169,837			
(うち長期前受金戻入)	256,996			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,191,637			
2 経常費用	6,191,637			
(1) 医業費用	6,084,209			
① 職員給与費	3,170,119	72.8	55.9	59.8
② 材料費	1,090,951	25.1	24.0	17.7
(うち薬品費)	636,123	14.6	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	430,166	9.9	11.1	8.0
③ 減価償却費	453,950	10.4	9.2	10.4
④ 経費	1,323,399	30.4	23.2	31.2
(うち委託料)	488,697	11.2	11.2	12.8
⑤ 研究研修費	40,677			
⑥ 資産減耗費	5,113			
(2) 医業外費用	107,428			
(うち支払利息)	15,155	0.3	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-219,985			
損益 純損益	-219,981			
累積欠損金	180,818			
経常収支比率	96.4		98.0	96.3
医業収支比率	71.6		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	22.5		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	30.8		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	22.5		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	74.8		85.9	81.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	37,589,487
1 固定資産	28,478,720
(1) 有形固定資産	28,472,731
(2) 無形固定資産	5,989
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	9,110,767
(1) 現金及び預金	5,221,277
(2) 未収金及び未収収益	3,793,961
(3) 貸倒引当金 (△)	2,055
(4) 貯蔵品	67,559
3 繰延資産	-
負債合計	33,912,067
1 固定負債	22,370,226
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,480,050
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,890,176
(7) リース債務	-
2 流動負債	6,656,908
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,990,626
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	768,163
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,774,955
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,884,933
(1) 長期前受金	22,222,620
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	17,337,687
資本合計	3,677,420
1 資本金	10,433,631
2 剰余金	-6,756,211
(1) 資本剰余金	611,812
(2) 利益剰余金	-7,368,023
負債・資本合計	37,589,487
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	群馬県
市町村・組合名	伊勢崎市
病院名	伊勢崎市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透Ｉ未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	45,421 ㎡	指定病院の状況	救臨が感　災地　輪
診療科数	23	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数　(%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	490	83.5	87.1	82.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	494	82.9	86.4	82.2
平均在院日数（一般病床のみ）		11.3	11.1	11.3

設立団体の状況		
人口 (人)		208,814
決算規模 (千円)		73,007,803
標準財政規模 (千円)		42,288,721
財政力指数		0.83
経常収支比率 (%)		95.3
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	5.2
	将来負担比率 (%)	39.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率 (%)	100.1
修正医業収支金額 (千円)	13,890,935

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,380,172			
1 経常収益	14,380,172			
(1) 医業収益	14,052,566			
① 入院収益	9,409,151			
② 外来収益	3,977,695			
診療収入計	13,386,846			
③ その他医業収益	665,720			
(うち他会計負担金)	161,631			
(2) 医業外収益	327,606			
(うち国・都道府県補助金)	44,599			
(うち他会計補助・負担金)	181,428			
(うち長期前受金戻入)	11,103			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,584,667			
2 経常費用	14,584,667			
(1) 医業費用	13,883,817			
① 職員給与費	7,149,154	50.9	55.9	55.2
② 材料費	3,950,957	28.1	24.0	25.7
(うち薬品費)	1,933,160	13.8	12.4	12.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,009,452	14.3	11.1	12.3
③ 減価償却費	847,543	6.0	9.2	8.5
④ 経費	1,810,299	12.9	23.2	19.0
(うち委託料)	1,092,041	7.8	11.2	9.1
⑤ 研究研修費	40,826			
⑥ 資産減耗費	85,038			
(2) 医業外費用	700,850			
(うち支払利息)	204,333	1.5	1.7	1.6
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-204,495			
損益 純損益	-204,495			
累積欠損金	2,918,117			
経常収支比率	98.6		98.0	98.4
医業収支比率	101.2		88.4	91.6
他会計繰入金対経常収益比率	2.4		12.4	10.0
他会計繰入金対医業収益比率	2.4		14.5	11.3
他会計繰入金対総収益比率	2.4		12.4	10.0
実質収益対経常費用比率	96.2		85.9	88.5

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円・%)

区分	決算額
資産合計	22,029,619
1 固定資産	12,852,717
(1) 有形固定資産	11,251,499
(2) 無形固定資産	1,108
(3) 投資その他の資産	1,600,110
2 流動資産	9,176,902
(1) 現金及び預金	6,789,300
(2) 未収金及び未収収益	2,292,862
(3) 貸倒引当金 (△)	31,000
(4) 貯蔵品	103,215
3 繰延資産	-
負債合計	12,500,316
1 固定負債	9,947,139
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,042,042
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,894,950
(7) リース債務	10,147
2 流動負債	2,541,041
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	824,474
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	430,236
(6) リース債務	10,838
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,217,105
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	12,136
(1) 長期前受金	93,614
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	81,478
資本合計	9,529,303
1 資本金	12,437,420
2 剰余金	-2,908,117
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,908,117
負債・資本合計	22,029,619
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

他会計からの繰入状況　(千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	343,059	343,059
資本勘定繰入	569,711	569,711
計	912,770	912,770

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	20.8
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	群馬県
市町村・組合名	渋川市
病院名	渋川総合病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- ㎡	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	-	-	-	22.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	22.3
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	11.1

設立団体の状況

人口 (人)		78,391
決算規模 (千円)		32,545,210
標準財政規模 (千円)		21,517,188
財政力指数		0.61
経常収支比率 (%)		94.0
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	5.9
	将来負担比率 (%)	26.7

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	45.1
修正医業収支金額 (千円)	23

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	11,205	17,659
資本勘定繰入	30,748	49,562
計	41,953	67,221

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	17,954			
1 経常収益	17,954			
(1) 医業収益	23			
① 入院収益	-			
② 外来収益	23			
診療収入計	23			
③ その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	17,931			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	17,659			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,261			
2 経常費用	17,954			
(1) 医業費用	51			
① 職員給与費	-	-	55.9	59.8
② 材料費	-	-	24.0	17.7
(うち薬品費)	-	-	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	8.0
③ 減価償却費	-	-	9.2	10.4
④ 経費	51	221.7	23.2	31.2
(うち委託料)	-	-	11.2	12.8
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	17,903			
(うち支払利息)	17,903	77839.1	1.7	1.8
(3) 特別損失	1,307			
損益 経常損益	-			
損益 純損益	-1,307			
累積欠損金	1,242,905			
経常収支比率	100.0		98.0	96.3
医業収支比率	45.1		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	98.4		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	76778.3		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	98.4		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	1.6		85.9	81.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	群馬県
市町村・組合名	藤岡市
病院名	藤岡市国民健康保険鬼石病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	5,886 ㎡	指定病院の状況	救　輪
診療科数	10	看護配置	１３：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	52	88.5	79.4	85.0
療養	47	84.2	82.4	82.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	86.4	80.9	83.8
平均在院日数（一般病床のみ）		29.1	29.4	25.2

設立団体の状況

人口 (人)		65,708
決算規模 (千円)		25,765,086
標準財政規模 (千円)		15,384,364
財政力指数		0.65
経常収支比率 (%)		97.1
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	11.3
	将来負担比率 (%)	18.3

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	85.2
修正医業収支金額 (千円)	918,169

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	92,237	90,706
資本勘定繰入	64,390	88,025
計	156,627	178,731

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	112.3
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,111,572			
1 経常収益	1,111,572			
(1) 医業収益	938,231			
① 入院収益	756,460			
② 外来収益	139,839			
診療収入計	896,299			
③ その他医業収益	41,932			
(うち他会計負担金)	20,062			
(2) 医業外収益	173,341			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	70,644			
(うち長期前受金戻入)	29,961			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,174,099			
2 経常費用	1,174,099			
(1) 医業費用	1,077,715			
① 職員給与費	752,320	80.2	55.9	69.4
② 材料費	102,770	11.0	24.0	17.1
(うち薬品費)	38,479	4.1	12.4	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	46,060	4.9	11.1	5.8
③ 減価償却費	68,617	7.3	9.2	11.6
④ 経費	151,837	16.2	23.2	31.2
(うち委託料)	91,326	9.7	11.2	12.1
⑤ 研究研修費	1,680			
⑥ 資産減耗費	491			
(2) 医業外費用	96,384			
(うち支払利息)	13,955	1.5	1.7	2.1
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-62,527			
損益 純損益	-62,527			
累積欠損金	1,053,417			
経常収支比率	94.7		98.0	98.0
医業収支比率	87.1		88.4	77.0
他会計繰入金対経常収益比率	8.2		12.4	22.6
他会計繰入金対医業収益比率	9.7		14.5	30.6
他会計繰入金対総収益比率	8.2		12.4	22.6
実質収益対経常費用比率	86.9		85.9	75.8

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	1,495,272
1 固定資産	1,017,567
(1) 有形固定資産	1,017,247
(2) 無形固定資産	320
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	477,705
(1) 現金及び預金	260,761
(2) 未収金及び未収収益	214,676
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	2,268
3 繰延資産	-
負債合計	1,165,649
1 固定負債	836,894
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	515,968
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	318,705
(7) リース債務	2,221
2 流動負債	202,391
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	77,380
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	46,199
(6) リース債務	1,270
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	74,686
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	126,364
(1) 長期前受金	285,265
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	158,901
資本合計	329,623
1 資本金	1,357,151
2 剰余金	-1,027,528
(1) 資本剰余金	19,389
(2) 利益剰余金	-1,046,917
負債・資本合計	1,495,272
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	群馬県
市町村・組合名	安中市
病院名	公立碓氷病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	12,568 ㎡	指定病院の状況	救
診療科数	21	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	149	43.1	46.6	51.6
療養	50	76.8	81.6	74.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	51.5	55.4	57.3
平均在院日数（一般病床のみ）		14.9	17.6	17.6

設立団体の状況

人口 (人)		58,531
決算規模 (千円)		24,350,452
標準財政規模 (千円)		15,038,801
財政力指数		0.78
経常収支比率 (%)		98.2
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	8.0
	将来負担比率 (%)	15.1

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	72.0
修正医業収支金額 (千円)	1,863,113

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	216,073	677,455
資本勘定繰入	117,545	117,545
計	333,618	795,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	68.7
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,679,418			
1 経常収益	2,679,418			
(1) 医業収益	1,941,370			
① 入院収益	1,110,939			
② 外来収益	692,388			
診療収入計	1,803,327			
③ その他医業収益	138,043			
(うち他会計負担金)	78,257			
(2) 医業外収益	738,048			
(うち国・都道府県補助金)	15,150			
(うち他会計補助・負担金)	599,198			
(うち長期前受金戻入)	115,983			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,672,137			
2 経常費用	2,672,137			
(1) 医業費用	2,587,340			
① 職員給与費	1,273,656	65.6	55.9	59.8
② 材料費	508,256	26.2	24.0	17.7
(うち薬品費)	291,255	15.0	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	189,707	9.8	11.1	8.0
③ 減価償却費	233,455	12.0	9.2	10.4
④ 経費	566,549	29.2	23.2	31.2
(うち委託料)	218,418	11.3	11.2	12.8
⑤ 研究研修費	5,424			
⑥ 資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	84,797			
(うち支払利息)	15,160	0.8	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	7,281			
損益 純損益	7,281			
累積欠損金	1,332,888			
経常収支比率	100.3		98.0	96.3
医業収支比率	75.0		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	25.3		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	34.9		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	25.3		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	74.9		85.9	81.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	3,408,935
1 固定資産	2,888,886
(1) 有形固定資産	2,888,886
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	520,049
(1) 現金及び預金	246,105
(2) 未収金及び未収収益	292,111
(3) 貸倒引当金 (△)	30,921
(4) 貯蔵品	12,754
3 繰延資産	-
負債合計	2,233,078
1 固定負債	1,339,541
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,230,523
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	109,018
(7) リース債務	-
2 流動負債	410,165
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	224,790
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	89,168
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	80,685
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	483,372
(1) 長期前受金	1,622,136
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	1,138,764
資本合計	1,175,857
1 資本金	2,508,745
2 剰余金	-1,332,888
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,332,888
負債・資本合計	3,408,935
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	群馬県
市町村・組合名	桐生地域医療組合
病院名	桐生厚生総合病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透Ｉ未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	34,089 ㎡	指定病院の状況	救臨が感　災地　輪
診療科数	24	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	467	67.9	71.0	67.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	471	67.3	70.4	66.8
平均在院日数（一般病床のみ）		12.6	12.8	12.6

設立団体の状況

人口 (人)	-
決算規模 (千円)	-
標準財政規模 (千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率 (%)	-
健全化判断比率 実質赤字比率 (%)	-
健全化判断比率 連結実質赤字比率 (%)	-
健全化判断比率 実質公債費比率 (%)	-
健全化判断比率 将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	89.0
修正医業収支金額 (千円)	9,137,678

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	763,836	346,240
資本勘定繰入	603,738	603,738
計	1,367,574	949,978

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	47.4
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,047,966			
1 経常収益	9,974,212			
(1) 医業収益	9,230,888			
① 入院収益	6,327,462			
② 外来収益	2,502,843			
診療収入計	8,830,305			
③ その他医業収益	400,583			
(うち他会計負担金)	93,210			
(2) 医業外収益	743,324			
(うち国・都道府県補助金)	130,171			
(うち他会計補助・負担金)	253,030			
(うち長期前受金戻入)	310,796			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	73,754			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,627,667			
2 経常費用	10,627,667			
(1) 医業費用	10,269,735			
① 職員給与費	5,699,550	61.7	55.9	55.2
② 材料費	2,055,041	22.3	24.0	25.7
(うち薬品費)	1,139,162	12.3	12.4	12.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	828,497	9.0	11.1	12.3
③ 減価償却費	604,735	6.6	9.2	8.5
④ 経費	1,843,103	20.0	23.2	19.0
(うち委託料)	889,961	9.6	11.2	9.1
⑤ 研究研修費	25,916			
⑥ 資産減耗費	41,390			
(2) 医業外費用	357,932			
(うち支払利息)	58,016	0.6	1.7	1.6
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-653,455			
損益 純損益	-579,701			
累積欠損金	4,371,050			
経常収支比率	93.9		98.0	98.4
医業収支比率	89.9		88.4	91.6
他会計繰入金対経常収益比率	3.5		12.4	10.0
他会計繰入金対医業収益比率	3.8		14.5	11.3
他会計繰入金対総収益比率	3.4		12.4	10.0
実質収益対経常費用比率	90.6		85.9	88.5

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	8,269,513
1 固定資産	6,618,092
(1) 有形固定資産	6,219,284
(2) 無形固定資産	2,108
(3) 投資その他の資産	396,700
2 流動資産	1,651,421
(1) 現金及び預金	105,266
(2) 未収金及び未収収益	1,476,538
(3) 貸倒引当金 (△)	34,061
(4) 貯蔵品	18,861
3 繰延資産	-
負債合計	5,440,787
1 固定負債	2,085,181
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,085,181
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,118,260
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	900,345
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	334,447
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	834,538
(9) 前受金及び前受収益	68
3 繰延収益	1,237,346
(1) 長期前受金	5,598,401
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	4,361,055
資本合計	2,828,726
1 資本金	7,196,376
2 剰余金	-4,367,650
(1) 資本剰余金	3,400
(2) 利益剰余金	-4,371,050
負債・資本合計	8,269,513
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	群馬県
市町村・組合名	多野藤岡医療事務市町村組合
病院名	公立藤岡総合病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透　未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	34,429 ㎡	指定病院の状況	救臨が感　災地　輪
診療科数	25	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	410	86.4	89.3	89.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	414	85.5	88.4	88.5
平均在院日数（一般病床のみ）		13.2	13.7	13.5

設立団体の状況

人口 (人)		-
決算規模 (千円)		-
標準財政規模 (千円)		-
財政力指数		-
経常収支比率 (%)		-
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	-
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	95.5
修正医業収支金額 (千円)	9,965,553

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,897,284			
1 経常収益	10,828,563			
(1) 医業収益	10,053,981			
① 入院収益	6,536,772			
② 外来収益	3,043,872			
診療収入計	9,580,644			
③ その他医業収益	473,337			
(うち他会計負担金)	88,428			
(2) 医業外収益	774,582			
(うち国・都道府県補助金)	37,130			
(うち他会計補助・負担金)	244,213			
(うち長期前受金戻入)	405,952			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	68,721			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,676,257			
2 経常費用	11,675,860			
(1) 医業費用	10,434,446			
① 職員給与費	5,265,663	52.4	55.9	55.2
② 材料費	2,555,768	25.4	24.0	25.7
(うち薬品費)	1,385,871	13.8	12.4	12.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,087,056	10.8	11.1	12.3
③ 減価償却費	797,584	7.9	9.2	8.5
④ 経費	1,616,776	16.1	23.2	19.0
(うち委託料)	911,556	9.1	11.2	9.1
⑤ 研究研修費	24,423			
⑥ 資産減耗費	174,232			
(2) 医業外費用	1,241,414			
(うち支払利息)	147,515	1.5	1.7	1.6
(3) 特別損失	397			
損益 経常損益	-847,297			
損益 純損益	-778,973			
累積欠損金	-			
経常収支比率	92.7		98.0	98.4
医業収支比率	96.4		88.4	91.6
他会計繰入金対経常収益比率	3.1		12.4	10.0
他会計繰入金対医業収益比率	3.3		14.5	11.3
他会計繰入金対総収益比率	3.1		12.4	10.0
実質収益対経常費用比率	89.9		85.9	88.5

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	27,646,823
1 固定資産	21,037,575
(1) 有形固定資産	20,235,076
(2) 無形固定資産	102,703
(3) 投資その他の資産	699,796
2 流動資産	6,609,248
(1) 現金及び預金	4,484,919
(2) 未収金及び未収収益	2,004,730
(3) 貸倒引当金 (△)	21,760
(4) 貯蔵品	129,277
3 繰延資産	-
負債合計	23,644,306
1 固定負債	20,483,553
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,112,690
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,370,863
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,308,558
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	845,020
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	298,911
(6) リース債務	4,815
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,113,000
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	852,195
(1) 長期前受金	7,054,894
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	6,202,699
資本合計	4,002,517
1 資本金	959,515
2 剰余金	3,043,002
(1) 資本剰余金	1,874,282
(2) 利益剰余金	1,168,720
負債・資本合計	27,646,823
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	338,841	332,641
資本勘定繰入	399,083	399,083
計	737,924	731,724

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	群馬県
市町村・組合名	邑楽館林医療事務組合（事業会計分）
病院名	館林厚生病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透　訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	31,837 ㎡	指定病院の状況	救臨　感　災地
診療科数	24	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	323	86.0	81.3	74.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	329	84.4	79.8	72.7
平均在院日数（一般病床のみ）		14.0	14.0	13.0

設立団体の状況

人口 (人)		-
決算規模 (千円)		-
標準財政規模 (千円)		-
財政力指数		-
経常収支比率 (%)		-
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	-
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	86.4
修正医業収支金額 (千円)	6,553,535

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	677,780	702,992
資本勘定繰入	292,375	292,375
計	970,155	995,367

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	133.7
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,376,793			
1 経常収益	7,376,793			
(1) 医業収益	6,816,971			
① 入院収益	4,570,652			
② 外来収益	1,707,797			
診療収入計	6,278,449			
③ その他医業収益	538,522			
(うち他会計負担金)	263,436			
(2) 医業外収益	559,822			
(うち国・都道府県補助金)	20,580			
(うち他会計補助・負担金)	439,556			
(うち長期前受金戻入)	70,885			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,879,379			
2 経常費用	7,879,379			
(1) 医業費用	7,587,838			
① 職員給与費	3,884,628	57.0	55.9	56.9
② 材料費	1,485,012	21.8	24.0	24.2
(うち薬品費)	823,352	12.1	12.4	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	599,029	8.8	11.1	11.7
③ 減価償却費	817,236	12.0	9.2	9.5
④ 経費	1,373,967	20.2	23.2	21.8
(うち委託料)	569,824	8.4	11.2	10.7
⑤ 研究研修費	16,785			
⑥ 資産減耗費	10,210			
(2) 医業外費用	291,541			
(うち支払利息)	87,543	1.3	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-502,586			
損益 純損益	-502,586			
累積欠損金	9,117,501			
経常収支比率	93.6		98.0	96.3
医業収支比率	89.8		88.4	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	9.5		12.4	11.2
他会計繰入金対医業収益比率	10.3		14.5	12.9
他会計繰入金対総収益比率	9.5		12.4	11.3
実質収益対経常費用比率	84.7		85.9	85.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	12,397,524
1 固定資産	10,397,128
(1) 有形固定資産	10,375,013
(2) 無形固定資産	2,115
(3) 投資その他の資産	20,000
2 流動資産	2,000,396
(1) 現金及び預金	708,404
(2) 未収金及び未収収益	1,264,865
(3) 貸倒引当金 (△)	4,301
(4) 貯蔵品	31,428
3 繰延資産	-
負債合計	12,377,729
1 固定負債	9,498,249
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,468,171
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,008,725
(7) リース債務	21,353
2 流動負債	1,261,885
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	555,203
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	241,521
(6) リース債務	6,502
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	451,431
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,617,595
(1) 長期前受金	1,843,411
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	225,816
資本合計	19,795
1 資本金	9,042,802
2 剰余金	-9,023,007
(1) 資本剰余金	94,494
(2) 利益剰余金	-9,117,501
負債・資本合計	12,397,524
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	群馬県
市町村・組合名	富岡地域医療事務組合
病院名	富岡総合病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透Ｉ未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	29,110 ㎡	指定病院の状況	救臨が感災輪
診療科数	20	看護配置	7：1
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	334	83.3	78.8	80.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	338	82.3	77.9	79.4
平均在院日数（一般病床のみ）		11.6	11.1	11.1

設立団体の状況

人口 (人)		-
決算規模 (千円)		-
標準財政規模 (千円)		-
財政力指数		-
経常収支比率 (%)		-
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	-
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	101.3
修正医業収支金額 (千円)	9,318,376

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,732,991			
1 経常収益	9,732,991			
(1) 医業収益	9,328,340			
① 入院収益	5,456,393			
② 外来収益	3,393,606			
診療収入計	8,849,999			
③ その他医業収益	478,341			
(うち他会計負担金)	9,964			
(2) 医業外収益	404,651			
(うち国・都道府県補助金)	25,057			
(うち他会計補助・負担金)	145,314			
(うち長期前受金戻入)	184,523			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,569,261			
2 経常費用	9,569,261			
(1) 医業費用	9,200,981			
① 職員給与費	5,228,331	56.0	55.9	56.9
② 材料費	2,439,864	26.2	24.0	24.2
(うち薬品費)	1,430,238	15.3	12.4	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	936,829	10.0	11.1	11.7
③ 減価償却費	546,861	5.9	9.2	9.5
④ 経費	950,603	10.2	23.2	21.8
(うち委託料)	445,227	4.8	11.2	10.7
⑤ 研究研修費	26,168			
⑥ 資産減耗費	9,154			
(2) 医業外費用	368,280			
(うち支払利息)	91,920	1.0	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	163,730			
損益 純損益	163,730			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.7		98.0	96.3
医業収支比率	101.4		88.4	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	1.6		12.4	11.2
他会計繰入金対医業収益比率	1.7		14.5	12.9
他会計繰入金対総収益比率	1.6		12.4	11.3
実質収益対経常費用比率	100.1		85.9	85.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	17,240,455
1 固定資産	12,710,304
(1) 有形固定資産	11,839,790
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	870,514
2 流動資産	4,530,151
(1) 現金及び預金	2,573,284
(2) 未収金及び未収収益	1,842,114
(3) 貸倒引当金 (△)	1,722
(4) 貯蔵品	115,956
3 繰延資産	-
負債合計	9,503,490
1 固定負債	7,163,750
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,532,172
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,615,470
(7) リース債務	16,108
2 流動負債	1,895,788
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	660,054
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	476,518
(6) リース債務	5,248
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	707,634
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	443,952
(1) 長期前受金	931,194
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	487,242
資本合計	7,736,965
1 資本金	7,310,696
2 剰余金	426,269
(1) 資本剰余金	11,664
(2) 利益剰余金	414,605
負債・資本合計	17,240,455
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	182,156	155,278
資本勘定繰入	433,249	373,254
計	615,405	528,532

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	群馬県
市町村・組合名	富岡地域医療事務組合
病院名	七日市病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	8,552 ㎡	指定病院の状況	
診療科数	4	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数

(%・日)

区分	病床数	29年度	28年度	27年度
一般	112	85.9	85.0	89.8
療養	57	94.0	92.0	92.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	169	88.6	87.4	90.6
平均在院日数（一般病床のみ）		61.4	62.7	75.6

設立団体の状況

人口 (人)		-
決算規模 (千円)		-
標準財政規模 (千円)		-
財政力指数		-
経常収支比率 (%)		-
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	-
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	107.5
修正医業収支金額 (千円)	1,796,503

損益計算書

(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,862,027			
1 経常収益	1,862,027			
(1) 医業収益	1,796,503			
① 入院収益	1,608,444			
② 外来収益	153,062			
診療収入計	1,761,506			
③ その他医業収益	34,997			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	65,524			
(うち国・都道府県補助金)	498			
(うち他会計補助・負担金)	20,838			
(うち長期前受金戻入)	36,278			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,731,004			
2 経常費用	1,731,004			
(1) 医業費用	1,671,417			
① 職員給与費	1,223,229	68.1	55.9	59.8
② 材料費	116,591	6.5	24.0	17.7
(うち薬品費)	40,919	2.3	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	34,374	1.9	11.1	8.0
③ 減価償却費	90,094	5.0	9.2	10.4
④ 経費	236,516	13.2	23.2	31.2
(うち委託料)	119,206	6.6	11.2	12.8
⑤ 研究研修費	3,509			
⑥ 資産減耗費	1,478			
(2) 医業外費用	59,587			
(うち支払利息)	26,421	1.5	1.7	1.8
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	131,023			
損益 純損益	131,023			
累積欠損金	-			
経常収支比率	107.6		98.0	96.3
医業収支比率	107.5		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	1.1		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	1.2		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	1.1		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	106.4		85.9	81.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

(千円・%)

区分	決算額
資産合計	17,240,455
1 固定資産	12,710,304
(1) 有形固定資産	11,839,790
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	870,514
2 流動資産	4,530,151
(1) 現金及び預金	2,573,284
(2) 未収金及び未収収益	1,842,114
(3) 貸倒引当金 (△)	1,722
(4) 貯蔵品	115,956
3 繰延資産	-
負債合計	9,503,490
1 固定負債	7,163,750
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,532,172
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,615,470
(7) リース債務	16,108
2 流動負債	1,895,788
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	660,054
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	476,518
(6) リース債務	5,248
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	707,634
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	443,952
(1) 長期前受金	931,194
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	487,242
資本合計	7,736,965
1 資本金	7,310,696
2 剰余金	426,269
(1) 資本剰余金	11,664
(2) 利益剰余金	414,605
負債・資本合計	17,240,455
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況

(千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	27,702	20,838
資本勘定繰入	53,624	53,624
計	81,326	74,462

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29年度	-	-
28年度	-	-
27年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	群馬県
市町村・組合名	下仁田南牧医療事務組合
病院名	下仁田厚生病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	9,381 ㎡	指定病院の状況	救　輪
診療科数	15	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	直営
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	94	78.7	79.3	77.2
療養	50	86.8	97.4	96.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	144	81.5	85.6	83.9
平均在院日数（一般病床のみ）		17.3	19.1	18.2

設立団体の状況

人口 (人)		-
決算規模 (千円)		-
標準財政規模 (千円)		-
財政力指数		-
経常収支比率 (%)		-
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	-
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	74.6
修正医業収支金額 (千円)	1,237,295

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	334,594	317,235
資本勘定繰入	53,411	53,411
計	388,005	370,646

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	163.8
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,605,461			
1 経常収益	1,605,461			
(1) 医業収益	1,264,576			
① 入院収益	945,797			
② 外来収益	228,193			
診療収入計	1,173,990			
③ その他医業収益	90,586			
(うち他会計負担金)	27,281			
(2) 医業外収益	340,885			
(うち国・都道府県補助金)	50			
(うち他会計補助・負担金)	289,954			
(うち長期前受金戻入)	27,692			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,831,615			
2 経常費用	1,711,815			
(1) 医業費用	1,659,258			
① 職員給与費	1,198,964	94.8	55.9	59.8
② 材料費	168,548	13.3	24.0	17.7
(うち薬品費)	61,012	4.8	12.4	9.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	75,824	6.0	11.1	8.0
③ 減価償却費	113,317	9.0	9.2	10.4
④ 経費	174,804	13.8	23.2	31.2
(うち委託料)	40,698	3.2	11.2	12.8
⑤ 研究研修費	3,176			
⑥ 資産減耗費	449			
(2) 医業外費用	52,557			
(うち支払利息)	20,867	1.7	1.7	1.8
(3) 特別損失	119,800			
損益 経常損益	-106,354			
損益 純損益	-226,154			
累積欠損金	2,071,678			
経常収支比率	93.8		98.0	96.3
医業収支比率	76.2		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	19.8		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	25.1		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	19.8		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	75.3		85.9	81.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	3,250,752
1 固定資産	2,904,274
(1) 有形固定資産	2,882,536
(2) 無形固定資産	2
(3) 投資その他の資産	21,736
2 流動資産	346,478
(1) 現金及び預金	116,383
(2) 未収金及び未収収益	224,626
(3) 貸倒引当金 (△)	1,328
(4) 貯蔵品	6,785
3 繰延資産	-
負債合計	2,286,343
1 固定負債	1,594,764
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,111,707
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	481,800
(7) リース債務	1,257
2 流動負債	227,710
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	91,328
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	66,958
(6) リース債務	1,690
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	61,322
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	463,869
(1) 長期前受金	618,134
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	154,265
資本合計	964,409
1 資本金	3,007,059
2 剰余金	-2,042,650
(1) 資本剰余金	29,028
(2) 利益剰余金	-2,071,678
負債・資本合計	3,250,752
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	群馬県
市町村・組合名	吾妻広域町村圏振興整備組合（事業会計分）
病院名	中之条病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	6,080 ㎡	指定病院の状況	
診療科数	1	看護配置	１５：１
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
ＤＰＣ対象病院	-		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	223	86.7	86.6	87.9
感染症	-	-	-	-
計	223	86.7	86.6	87.9
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況

人口 (人)		-
決算規模 (千円)		-
標準財政規模 (千円)		-
財政力指数		-
経常収支比率 (%)		-
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	-
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	-
修正医業収支金額 (千円)	-

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	51,890	51,890
資本勘定繰入	-	-
計	51,890	51,890

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	52,160			
1 経常収益	52,160			
(1) 医業収益	-			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	52,160			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	51,890			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	51,519			
2 経常費用	51,519			
(1) 医業費用	51,519			
① 職員給与費	-	-	55.9	94.3
② 材料費	-	-	24.0	8.8
(うち薬品費)	-	-	12.4	6.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	1.1
③ 減価償却費	48,450	-	9.2	12.6
④ 経費	3,069	-	23.2	33.3
(うち委託料)	-	-	11.2	16.0
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.7	3.4
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	641			
損益 純損益	641			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.2		98.0	100.2
医業収支比率	-		88.4	66.8
他会計繰入金対経常収益比率	99.5		12.4	33.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	52.8
他会計繰入金対総収益比率	99.5		12.4	33.4
実質収益対経常費用比率	0.5		85.9	66.5

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	1,341,930
1 固定資産	918,008
(1) 有形固定資産	916,579
(2) 無形固定資産	1,429
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	423,922
(1) 現金及び預金	423,922
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	118,329
1 固定負債	500
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	117,829
(1) 長期前受金	1,072,715
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	954,886
資本合計	1,223,601
1 資本金	211,568
2 剰余金	1,012,033
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	1,012,033
負債・資本合計	1,341,930
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況

(29 年度)

都道府県名	群馬県
市町村・組合名	西吾妻福祉病院組合（事業会計分）
病院名	西吾妻福祉病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	9,903 ㎡	指定病院の状況	救臨へ輪
診療科数	11	看護配置	１０：１
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
ＤＰＣ対象病院	対象		

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	29 年度	28 年度	27 年度
一般	74	73.0	71.6	71.6
療養	37	65.9	78.6	78.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	111	70.6	73.9	73.9
平均在院日数（一般病床のみ）		15.4	14.9	15.1

設立団体の状況

人口 (人)		-
決算規模 (千円)		-
標準財政規模 (千円)		-
財政力指数		-
経常収支比率 (%)		-
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	-
	将来負担比率 (%)	-

修正医業収支の状況

修正医業収支比率 (%)	-
修正医業収支金額 (千円)	-

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	162,339	327,600
資本勘定繰入	115,046	147,046
計	277,385	474,646

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
29 年度	-	-
28 年度	-	-
27 年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	491,642			
１ 経常収益	473,988			
（1）医業収益	37,040			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ その他医業収益	37,040			
（うち他会計負担金）	37,040			
（2）医業外収益	436,948			
（うち国・都道府県補助金）	1,715			
（うち他会計補助・負担金）	290,560			
（うち長期前受金戻入）	131,855			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	17,654			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	568,336			
２ 経常費用	546,980			
（1）医業費用	494,226			
① 職員給与費	27,412	74.0	55.9	59.8
② 材料費	-	-	24.0	17.7
（うち薬品費）	-	-	12.4	9.1
（うち薬品費以外の医薬材料費）	-	-	11.1	8.0
③ 減価償却費	268,007	723.6	9.2	10.4
④ 経費	198,807	536.7	23.2	31.2
（うち委託料）	9,976	26.9	11.2	12.8
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	-			
（2）医業外費用	52,754			
（うち支払利息）	47,819	129.1	1.7	1.8
（3）特別損失	21,356			
損益 経常損益	-72,992			
損益 純損益	-76,694			
累積欠損金	-			
経常収支比率	86.7		98.0	96.3
医業収支比率	7.5		88.4	83.4
他会計繰入金対経常収益比率	69.1		12.4	15.9
他会計繰入金対医業収益比率	884.4		14.5	19.5
他会計繰入金対総収益比率	66.6		12.4	16.2
実質収益対経常費用比率	26.8		85.9	81.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	3,049,199
１ 固定資産	2,580,002
（1）有形固定資産	1,872,043
（2）無形固定資産	-
（3）投資その他の資産	707,959
２ 流動資産	469,197
（1）現金及び預金	469,195
（2）未収金及び未収収益	2
（3）貸倒引当金（△）	-
（4）貯蔵品	-
３ 繰延資産	-
負債合計	2,589,006
１ 固定負債	2,164,754
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,141,299
（2）その他の企業債	-
（3）再建債（特例債含む）	-
（4）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（5）その他の長期借入金	-
（6）引当金	21,727
（7）リース債務	1,728
２ 流動負債	209,876
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	206,876
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	1,963
（6）リース債務	1,037
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	-
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	214,376
（1）長期前受金	2,258,236
（2）長期前受金収益化累計額（△）	2,043,860
資本合計	460,193
１ 資本金	30,041
２ 剰余金	430,152
（1）資本剰余金	385,193
（2）利益剰余金	44,959
負債・資本合計	3,049,199
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

備考：

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。